

一般質問

川下
議員

○胃がんリスク検診について

質 本件に関する先の一般質問で、市長より、ピロリ菌リスク検診については平成28年度より実施に向けて取り組む旨の答弁があった。その報に、松浦市から胃がんをなくす一步になると喜びの声も聞こえてきた。実施してこそ意味があります。そこで伺います。対象者の線引きとその人数はどのくらいになりますか。

答 対象者は、市内に住民票を置く40歳以上の方すべてを対象とし、約2千600人程度の受診を見込んでいます。

質 周知の取り組みと検診者数の目標設定はどのような考えですか。

答 住民健診の予約案内通知やホームページと市報でお知らせする考えです。任意の検診であるため、個人の判断で検診を受けて頂くこととなりますので目標の設定はありません。

質 検査結果による受診者への対応はどのようになりますか。

答 検査結果を通知するとともに感染が判断される方へは、除菌治療や医療機関への受診を勧める通知をあわせて行います。

質 自己負担はどのようになりますか。

答 新年度予算を編成する中で、財政状況を勘案しながら定めることとしております。

○安心して産み育てられる松浦市の環境づくりについて

質 本市の子育て支援策は、松浦市の魅力ある施策のひとつです。今年度から始まった高校生までの医療助成拡大、不妊治療助成などにより安心して子供を産み育てられる環境が整備され、近隣他市との差別化もできています。実際に近隣市町の子育て世代住民から本市への移住希望の問い合わせがありましたか。

答 今年に3件の問い合わせとご相談がありました。住宅問題の関係でいずれも移住には至りませんでした。が、このような情報が寄せられていることから住宅政策についてはしっかりと対応してまいります。

質 松浦市で分娩が出来る医療施設が年内でなくなると聞いている。まず事実確認と、緊急の場合にどのような対応になるのかお尋ねしたい。

答 市内の産科クリニックは、12月末をもって分娩の取り扱いを中止されますが、出産前後の検診については従来どおり実施されると聞いております。佐世保総合病院と提携され出産と緊急時の対応は同病院で行われます。

一般質問

高橋
議員

○全国水中考古学サミットを開催できないか

質 水中考古学の分野は、学問の地位としては現時点では非常に低い。海底遺跡は、調査、発掘、引揚げ、保存処理など莫大な金と時間がかかる。神崎遺跡は、全国で唯一の国指定の海底遺跡であり、陸域の遺跡に負けずとも劣らぬ重要性があることを知らしめる必要がある。国の指定を受けているのは松浦市だけだが、国の対応はまだ確立していない。本市がリーダーシップをとって水中考古学サミットと銘打って、その重要性を全国に発信してはどうか。

答 鷹島神崎遺跡については、しっかりと対応をしていかななくてはならないと十分認識しております。これまで文化庁とも意見交換を行いました。が、学術上の地位確立と鷹島神崎遺跡をその拠点にするための取り組みが必要だと考えます。ご提案にありますように、関係自治体等とネットワークを構築し、関心を高めるための方策としてサミット開催は大きな効果があると思います。水中

考古学に関連する自治体や機関に呼びかけ、準備を進めたいと考えます。

○松浦高校に「水中考古学クラブ」創設をお願いできないか

質 水中考古学クラブをぜひ地元松浦高校に創設してほしい。クラブの創設に適した環境にあるところは本市のほかにはないだろうし、つくれば松浦高校の特色になる。遺跡のPRにもなるし、水中考古学の人材育成にもつながる。ただし、指導者や資金面で強力な支援が必要となる。市の全面的なバックアップがないと、高校としては足を踏み出すことはできないだろうと思う。その前提で熱意を持って創設をお願いして頂きたいと思うがどうか。

答 以前、松浦高校はカブトガニの研究で大変有名になったことがありました。ご提案のありました水中考古学クラブが創設できれば、松浦高校の魅力化につながると思います。市としても協力体制をつくっていかねければと考えます。高校としても教育課程や教職員の問題等もあろうかと思われまますので、まずは話し合いができれば次のステップに進めるのではと思います。ご提案の趣旨は高校へしっかりとつないでいきます。